

折に触れ 四字熟語

NO. 318 【六合同風】 りくごう どうふう

< 意味 > 戦乱が終息し、平和が訪れること。ばらばらに分かれていた天下が統一され、風習・しきたりなどが同じになる意から。「六合、風を同じうす」と訓読する。

< 出典 > 『漢書』王吉伝かんじよ おうきつでん

用法： 祖国の統一で、六合同風を果たした。

語 釈： 「六合」は天地と四方を指す。天下の意。「風」は風俗の意。

一言： 2023年10月7日にハマスがイスラエルを奇襲して始まり、1年3か月以上も続いていた戦闘ですが、やっとイスラエルとイスラム組織ハマスの停戦合意が1月19日に発効しました。戦闘の終結によって、この熟語の意味のように国が統一される訳ではありませんが、ガザに平和が訪れたことに安堵しています。

参考文献： 岩波書店「四字熟語辞典」